枚方八景

市制 35 周年を記念して「ふるさと枚方」らしい風景を
将来に伝承していくことを目的に枚方八景を制定しました。

昭和 59 年 10 月 1 日制定　枚方市

万年寺山の緑陰

Green shade of Mannenjiyama Hill

淀川沿いに細長くのびる旧枚方宿の町並みを眼下に見おろし、こんもりと緑に包まれて突き出た丘が万年寺山です。摂津・丹波の山々や、豊かな淀川を一望に見渡せる風光明媚なこの丘は、京阪二都のちょうど中間にあり、数々の歴史の舞台となってきました。この丘の上の意賀美神社境内には、古墳時代前期に築かれた万年寺山古墳があり、青銅鏡八面が出土しました。

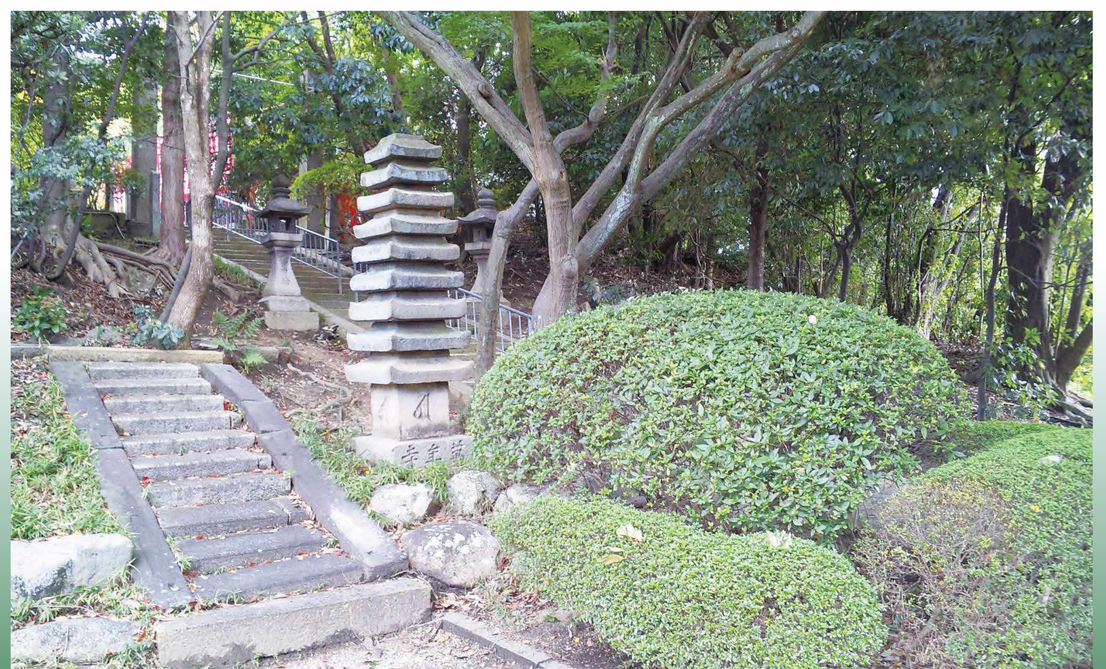
言い伝えによると、推古天皇（５９２～６２８）の時代、高麗（高句麗）の僧恵灌が、この地の風景の勝れているのを愛で、眺めが唐の林岸江に似ているとして、草庵を営んだのが万年寺のはじまりです。一千年余の法灯を伝え、夕暮れを告げる晩鐘は人々に親しまれてきましたが、明治の神仏分離令により、この地に意賀美神社が遷ってきました。いまも参道の石段横に、「長松山萬年寺」と刻んだ石柱や十三重の石塔が苔むしており、往時を偲ばせてくれます。

近年、境内に植えられた多くの紅白梅が大きくなり、観梅の名所になっています。

梅林を北に向かうと豊臣秀吉の御茶屋御殿跡があり、展望広場として整備され、眺望の素晴らしいところです。

English guide
한국어 안내
中文 指南

枚方八景位置図
Map of the Hirakata's Eight Best Views



1200X1200